

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 学んだ成果を活かす仕組みの構築
-----	-------------------

施策主管課	生涯学習課	総合計画記載頁	107ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	8 生涯にわたる学習活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。
------	------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

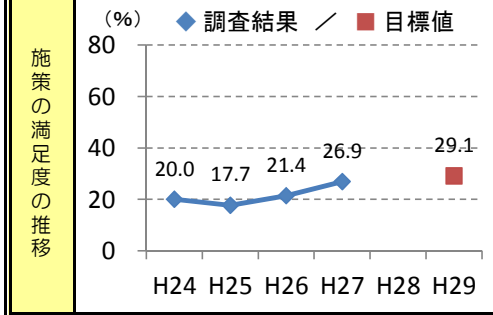
2 施策の取組状況

施策目標	より良い地域社会をつくるために、学びの成果を活動に活かしています。
------	-----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	人材バンクの登録者数	単年度目標値	370	424	527	631	684			728	B	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	20.0%	17.7%	21.4%		26.9%	A
現状値			320人	実績値	306	306	316	448	目標値(H29)	29.1%	前年度からの増減				-2.3%	3.7%	5.5%				
目標値(H29)			728人	単年度の達成度	82.7%	72.2%	60.0%	71.0%													
指標2	家庭教育サポーター養成講座修了者数	単年度目標値	50	65	80	95	110	125	B	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)										B	
		現状値	38人	実績値	46	65	73	85		【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29			
		目標値(H29)	125人	単年度の達成度	92.0%	100.0%	91.3%	89.5%			全生涯学習センター及び地域コミュニティセンターの利用者数/市民1人	中核市平均	2.19	2.03	2.02	1.99					
単年度目標値								実績値	2.10		2.12	1.97	2.04								
指標3	単年度目標値	現状値										中核市での本市の順位	20位/41市中	18位/41市中	22位/42市中	19位/43市中					
		実績値																			
		目標値(H29)																			

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 逡増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逡減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	平成28年3月の中央教育審議会部会における審議経過報告において、「全員参加による課題解決社会」を実現していくため、各種課題に対応する多様な学習機会を充実し、学習した成果を活用につなげていけるような環境を整備することの二つの施策を両輪で進め、「『学び』と『活動』の循環」を形成していくことが重要であるとしている。	市民満足度	地域教育活動の促進や、地域人材の育成に積極的に取り組み、「地域で学び、学んだ人が地域をつくる」地域教育のより一層の推進を図った結果、市民満足度は昨年度より増加している。	総合評価	83点 概ね順調
施策指標	・人材バンクの登録者数については、平成26年度のシステムのリニューアルに伴い、市内の生涯学習センターによる地域への働きかけなどにより、登録者が増加した。 ・家庭教育サポーター養成講座修了者数については、親学や家庭教育支援の輪を広げていく必要性を訴え、家庭教育支援の充実に向けて取り組んできたことにより、修了者数が増加し指標の達成率もほぼ9割を確保することができた。				

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H27事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	生涯学習情報提供事業	○★	学習情報提供及び学習支援の充実と、学んだ成果と活動をつなげる仕組みづくり	全市民	生涯学習情報提供システム(マナビス)による情報提供、学習相談窓口の開設	計画どおり	1,615	H3		市民の主体的な生涯学習活動を支援するため、多様な学習情報の提供に取り組むとともに、学んだ成果を活かしたい人材を支援するため、生涯学習センター職員等への人材バンクに関する実務研修等の実施や、社会教育関係団体との連携強化による「地域人材マッチング機能」の活用など、人材バンクの効果的な運用に取り組む。
2	宇都宮市地域婦人会連絡協議会補助金		「宇都宮市地域婦人会連絡協議会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮市地域婦人会連絡協議会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	400	S36		女性を中心とした地域の教育力向上のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、女性団体交流会の共同開催など、行政と連携した取組の充実や団体活動の更なる活性化について引き続き支援する。
3	宇都宮ユネスコ協会補助金		「宇都宮ユネスコ協会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮ユネスコ協会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	100	S36		人権・国際理解教育の推進のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、絵画展の開催など、行政と連携した取組の充実について引き続き支援する。
4	宇都宮市PTA連合会補助金		「宇都宮市PTA連合会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮市PTA連合会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	950	S32		家庭と地域の教育力向上のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、意見交換会など、行政と連携した取組の充実について引き続き支援する。
5	宇都宮市子ども会連合会補助金		「宇都宮市子ども会連合会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮市子ども会連合会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	1,100	S44		地域の教育力向上のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、指導者研修の共同開催など、行政と連携した取組の充実について引き続き支援する。
6	人財かがやき支援事業(再掲)	★	市民活動団体等の活動活性化	生涯学習にかかわる又は関心のある市民	地域教育メッセの開催	計画どおり	16	H20		地域教育メッセにおいて、出展団体や市民が活動紹介や情報交換などの交流を通して、今後の活動の活性化や機会づくりにつながる場を提供する。引き続き「うつのみや人づくりフォーラム」と一体的に開催し、より多くの市民の生涯学習支援に寄与することができるよう、事業の更なる充実を図っていく。
7	講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業(再掲)	★	生涯学習の推進役となる人材の養成	生涯学習講座の企画運営に関心のある市民	Vスタッフの養成	計画どおり	107	H13		市民目線による講座の企画・運営を通じた生涯学習を推進するため、引き続きVスタッフの養成を行うとともに、講座修了後も継続した育成支援に取り組むため、フォローアップ研修会の開催や、生涯学習センターにおける活動機会の拡充を図るなど、Vスタッフの円滑な活動に向けた支援に取り組む。
8	成人対象事業(再掲)	★	市民の主体的な学習活動の支援と個人の自立に向けた学習の促進	概ね18歳以上の市民	各種教養講座、高齢者教室などの開催	計画どおり	3,252	S24		多様な市民ニーズや様々な社会情勢に対応した魅力ある講座を実施するとともに、地域の課題や魅力に気づく講座の実施や、市民が運営する講座の更なる推進に取り組んでいく。また、講座の実施にあたっては、実施日時の工夫など、地域教育を支える大人の学習機会として、より多くの市民が受講できるよう努めていく。
9	家庭の教育力向上事業の推進(再掲)	★	学校・家庭・地域・企業等と連携した家庭教育支援の充実	主に保護者、未来の親(中学生・高校生等)、家庭教育支援団体、企業	親学出前講座の実施、親と子どもの情報誌の発行、家庭教育サポーターの養成、市P連・企業との連携等	計画どおり	3,723	H19		人づくりにおいて重要な役割を担う家庭の教育力向上を図るため、親学出前講座や家庭教育支援講座などの講座開催及び、親学と子どもの情報誌と家庭教育手帳の発行を通じた情報提供を通して、学習機会の充実を図っていく。また、親学習プログラム指導者研修会や家庭教育サポーターフォローアップ研修、家庭教育サポーター養成講座等を通して、家庭教育支援団体との連携強化及び家庭教育支援者の人材育成に取り組む。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	◆学んだ成果を活かしたい人材を支援するため、多様な学習情報の提供だけでなく、学んだ人を活動主体(団体等)につなぐ、人材バンクの効果的な運用が必要である。
方向性	<p>&lt;施策全般&gt; ◆多くの市民の参画による地域活動の活性化を図り、講座等で学んだ人はもとより、自分ができることを活かして地域活動をしたい人を社会参画や地域活動へとつなげる効果的な仕組みづくりに取り組んでいく。</p> <p>&lt;主要事業&gt; ◆生涯学習情報提供事業については、生涯学習センター職員等への人材バンクに関する実務研修等の実施や、社会教育関係団体との連携強化による「地域人材マッチング機能」の活用を進めていく。</p> <p>&lt;その他個別事業&gt;</p>